

にしあいつ



力を合わせ全力プレー

- P 2～3 特集 元気な町は
集落の活性化 地域づくりから
- P 4 横浜市鶴見区と友好交流協定締結
- P 5 平成24年度自治区長会議開催
- P 6～7 特集 ご存じですか
町の「ごみ」が増えていること
町内の空間放射線量測定結果
- P 8



—特集— 元気な町は 集落の活性化 地域づくりから



奥川地域づくり会議・三瓶純一会長（山浦）

町では昨年、「町の活性化は、集落の活性化から」という考えのもと、活力ある地域づくり支援事業補助金制度を創設し、①地場産業の振興、②都市等との交流促進、③伝統的工芸品等の振興、④伝統行事や郷土芸能の継承保存活動など、地域活性化を推進する事業に取り組み団体や個人を支援し、地域おこしをサポートしています。

今年度は昨年度より5団体多い、12団体から補助申請があり、平成24年度も元気で活力ある地域づくりに向けた活動が展開されます。

この制度を活用し、2年目の活動に入る2団体の代表に話をうかがいました。

奥川地域づくり会議

人口の減少、少子高齢化が著しく進む奥川地区の住民が、将来にわたって生きいきと、そして希望をもって暮らしていくよう、奥川地域づくり会議では平成21年6月から地域の活性化に向けた検討や取り組みを行っています。

—昨年度行った活動は。
奥川で採れた食材を使った食堂の試行を7回実施したほか、農林産物の加工・販売と直売所の開設、また、奥川地区内の国道459号沿線の景観整備を行いました。

—今年度の目標は。
メンバーの高齢化、風評被害の影響もあります。昨年度に引き続き、地域資

源を活用した活性化の方向性を探るため、食堂施設や加工施設の運営、国道459号沿線の景観整備などに取り組み、地域資源の強み・弱みを把握し、そのPR方法や本格的な事業実施に向けた試行を進めていく計画です。

具体的には、本年6月から11月まで月に1〜2回程度、地元食材を使った飲食物、主にそばを食堂で提供していきます。新そばまつりも継続して開催します。

また、遊休農地を活用し、そばやジャガイモ栽培に取り組み、これを食堂の食材として利用していきます。

さらに、奥川地区で生産される農林産物や山菜を使った惣菜などの加工品製造・販売と直売所の運営を行います。加工品については道の駅に「あいづ「よりっせ」」などでも販売します。

このほか、向原地区の「みちくさ広場」整備、菜の花やコスモスなどの花の栽培、ビュースポットの整備などに取り組み、交流人口の増加を目指していきます。



第3回奥川新そばまつり



西会津天空の郷 山菜生産加工組合・田崎眞平組合長(長桜)



①②③
西会津天空の郷・宮城
教育大学学生との調査
検討作業



④奥川地域づくり会議
食堂試行 ⑤同会議が製
造販売する加工品 ⑥国
道459号の景観整備

西会津天空の郷

上谷地区(小杉山を含む)では、平成22・23年度に大学生の力を生かした地域づくりを実施し、この活動の中で、山菜の生産や加工、湧水の活用、眺めのすばらしさなどから、この地区を「天空の郷」と命名しました。

上谷地区の特性や資源を生かし、地域の活性化ができると宮城教育大学から提言されたことから、上谷に活気を取り戻したいと考え、さまざまな事業を展開しています。

― 昨年度行った活動は。

遊休農地を耕してゼンマイ、ウドなどを植え、畑の管理方法や生産技術の向上、また、収益向上に向けた加工食品講習会

の受講のほか、先進地視察も実施しました。先進地視察は、上谷地区の住民、大学生21名が参加し、廃校を活用して運営している山形県金山町の「谷口がっこそばレストラン」の視察研修を行いました。さらに、湧水の水質検査を実施しました。

― 今年度の目標は。

上谷地区の全戸が目標や意識を共有しながら将来の基盤づくりのため、今年度もゼンマイ、ウドなどを生産し、生産加工技術の向上を図るほか、先進地視察を行っていく計画です。

山菜は、道の駅にしあいつ「よりっせ」などへの出荷に加え、塩漬け加工して年間を通じて販売して行きたいと考えています。



山崎幹夫 鶴見区長

横浜市鶴見区と

友好交流協定締結

4月18日、町は横浜市鶴見区と友好交流協定を締結しました。
協定の締結式は、鶴見区役所で行われ、伊藤町長と山崎幹夫鶴見区長がそれぞれ協定書に署名し取り交わしました。

この友好交流協定は、西会津町民と鶴見区民が将来にわたって交流し、両自治体、住民の友好・協力関係により相互が発展することを目指し、今後、交流・協力の促進、さらに、具体的な交流計画を両地域で協議し策定することなどを合意しました。

締結式では、まず、伊藤町長が「物産をはじめ、相互の学校・商店街などが連携し、交流人口の増加を図りたい。鶴見区との物・人・心の交流を通して町の活性化につなげたい」とあいさつしました。

続いて、山崎区長が「交流をさらに発展させ、鶴見の子どもたちが西会津町の豊かな自然の中で伸び伸びと遊ぶなど、体験を通じた交流を積極的に行っていきたい」とあいさつし、今後の両地域の発展に向け、抱負を述べました。

町では、平成22年度から2年間、鶴見区に職員を派遣し、これまで鶴見区のイベントで町物産品のPR販売などを行ってきました。今後も、鶴見区との交流を一層推進し、町の活性化へとつなげていきます。

「鶴見区」って
どんなところ？



【人口】 275,074人
[平成24年4月1日現在]
(西会津町の約3.5倍)

【面積】 33.23km²
(西会津町の約1/9)

【特徴】 臨海部は埋立地で、京浜工業地帯の中核地として発展。外国人の居住者が多く、平成20年には「鶴見区多文化共生のまちづくり宣言」を行っている。



「みんなの声が響くまち」実現に向け

地域と行政の橋渡し役

— 平成24年度 自治区長会議開催 —



代表で委嘱状を受け
取った高目自治区長
佐藤武雄さん

● インタビュー

以前に2度自治区長を務めました。集落内での組回りの方法による区長選出が困難になり、再び自治区長を務めることになりました。

高目自治区では、空き家が生まれ、また、高齢化が進み、後継者がいないことが大きな課題となっています。こうした状況ですが、しっかりと24戸をまとめていきたいと思っています。

今後の取り組みとして、欲張りかも知れませんが、水量が豊富な湧水・大清水の融雪への活用や、集落営農によるウドの栽培、また、奥川地区に負けないような遊休農地活用による桜並木の整備といった構想を描いています。町当局の支援をいただきながらぜひ実現できればと思っています。

町内90名の自治区長を対象とした平成24年度自治区長会議が、4月23日、町公民館で開催され、本年4月から新たに自治区長となった32名を代表して佐藤武雄さん(高目)に委嘱状が交付されました。会議では、伊藤町長が「本年度を町の復興元年と位置づけ、地域の皆さんとの連携のもと、昨年7月の豪雨災害、福島第一原子力発電所事故に伴う風評被害からの一日も早い復旧・復興を目指し、課題の解決に向けて取り組んでいきますので協力をお願いします」とあいさつし、まちづくりへの協力を要請しました。

続いて町から本年度の予算と財政状況、主な重点事業と新規事業、また、放射能対策の取り組みなどについての説明が行われました。その後の質疑応答では、放射線のモニタリング検査をはじめ、予算や税、各事業の内容に対して質疑が行われました。自治区長の皆さんには、地域と行政の橋渡し役として、各種書類の集配をはじめ、町が行う調査への報告、集落内の道路や河川、水路、消防施設等の監視、納税の指導など、町政伸展のために協力をいただくこととなります。



喜多方地方広域市町村圏組合・環境センター山都工場
焼却施設内ごみ集積場

— 特集 —

ご存じですか 町の「ごみ」が増えていること

西会津町の主な家庭ごみの排出量

単位：kg

種別		平成22年度	平成23年度	増減量	増減率
ごみ	燃やせるごみ	1,171,500	1,323,100	151,600	12.9%
	燃やせないごみ	197,970	188,670	△9,300	△4.7%
	粗大ごみ	42,900	42,700	△200	△0.5%
資源物	プラスチック製容器包装	31,220	33,060	1,840	5.9%
	ペットボトル	14,290	14,310	20	0.1%
	資源ごみ(缶類)	19,280	24,610	5,330	27.6%
	資源ごみ(ビン類)	54,219	56,780	2,561	4.7%
	資源ごみ(紙類)	24,790	32,570	7,780	31.4%
	白色トレイ	30	20	△10	△33.3%
合計		1,556,199	1,715,820		

燃やせるごみが

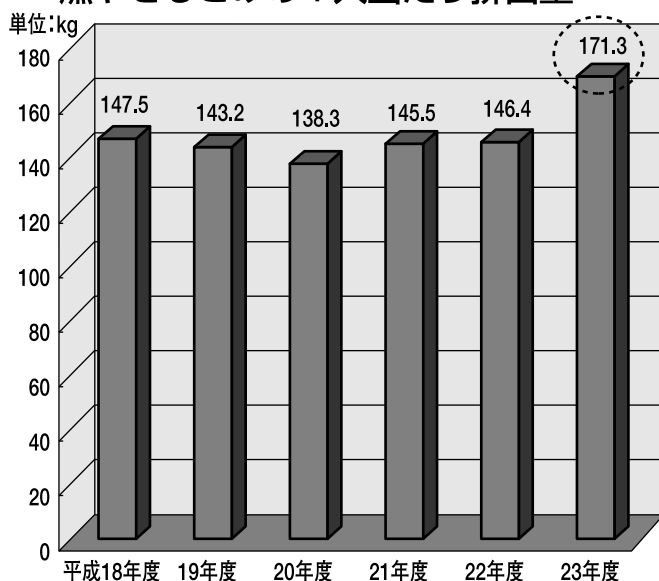
13%増加

右上の表で平成22年度と23年度の排出量を比較すると、リサイクルされる資源物の排出量が全体的に増えています。これは町民の皆さんにしっかりと分別いただいた結果であり、今後も分別収集に一層のご協力をお願いします。

しかし一方で、燃やせるごみの排出量が平成23年度は22年度より約152トン、12・9パセント増加しました。

また、右下のグラフのとおり燃やせるごみの1人当たり排出

燃やせるごみの1人当たり排出量



特に注意したい4項目

量が、過去5年間はおおむね横ばいでしたが、23年度は171キログラムと大きく増加しています。燃やせるごみを出す前に、生ごみの水分は十分に切つてあるか、また、紙類やプラスチック製容器包装などの資源ごみが混じっていないかを確認し、資源物のリサイクルと、ごみの減量化の推進をお願いします。

①生ごみは水分を十分に切つて

から燃やせるごみに出してください。また、生ごみ処理機

などの購入を検討ください。

町では生ごみ処理機購入費の補助を行っています。詳しくは役場にお問い合わせください。

②プラスチック製容器包装とプララシチック製品を燃やせるごみに混同しないよう「ごみの決めごとポスター」で確認し、正しく出してください。

③火災やダイオキシンの発生を防ぐため、家庭でのごみ焼却は行わず、決められた日に、指定の場所に出してください。

④たとえ自分の土地であってもみだりにごみを捨てると不法投棄になります。粗大ごみ収集の機会を活用してください。

喜多方地方広域市町村圏組合 環境センター山都工場「遠藤場長補佐」に聞く

喜多方管内における西会津町のごみの状況は。

平成23年度の燃やせるごみの山都工場への搬入量は、対前年度比で喜多方管内(喜多方市、北塩原村、西会津町)では3パセント増加しました。このうち西会津町からの搬入量は13パセント増加しています。

山都工場の焼却施設の状況は。現在の焼却施設は平成3年に稼動しました。2基ある焼却炉を24時間運転し、1日約100

トン焼却処理しています。平成3年以降、計画的に施設の修理を行ってきましたが、稼動から20年以上が経過したため、焼却炉本体や機械設備が大規模な更新の時期を迎えています。

こうした状況から山都工場では、極力焼却するごみの量を減らすため、搬入されたごみを点検し、ダンボールや雑誌、ペットボトルなどを水際で回収する作業を行っています。

町民の皆さんへのお願いは。分別の徹底がごみの減量化につながります。資源物はごみにしないよう出す時から気をつけて分別する対応をお願いします。



環境センター山都工場・遠藤正典場長補佐

町内の 空間放射線量 測定結果

～4月27日に一斉調査～



サーベイメーターでの放射線量測定状況

町では、東京電力・福島第一原子力発電所事故の発生後、町民の皆さんの安全・安心を確保するため、国や県とともに空間放射線量の調査を実施してきました。

昨年9月からは、町独自で町内14カ所の空間放射線量を月1回定期的にモニタリング調査してきました。

今年度、町では4月27日に、雪解け後の空間放射線量を確認するため、町内の全自治区および小中学校をはじめ、保育園などの主な公共施設、さらに、さゆり公園などの観光施設、合わせて111カ所、172地点の一斉調査を実施しました。

現在、国が示す除染が必要とされる地域は、年間被ばく線量1ミリシーベルト、1時間当たりの換算で0・23マイクロ

各自治区の空間線量モニタリング調査結果

測定日：4月27日 [地上から1メートルで測定] 単位：マイクロシーベルト/時

1 町内区長宅前	0.09	西林東集会所前	0.11	橋立区長宅前	0.08
2 町内区長宅前	0.07	さゆり会館前	0.09	井谷集会所前	0.14
3 町内区長宅前	0.07	縄沢集会所前	0.09	八重窪防火用水池	0.09
4 町内区長宅前	0.08	青坂集会所前	0.14	橋屋集会所前	0.08
5 町内区長宅前	0.08	旧軽沢分校入口	0.13	戸中集会所前	0.06
6 町内区長宅前	0.07	程窪区長宅前	0.11	高目集会所前	0.10
7 町内区長宅前	0.10	泥浮山上谷分校前	0.14	小清水集会所前	0.09
8 町内区長宅前	0.08	長桜区長宅前	0.08	漆窪区長宅前	0.11
9 町内1区長宅前	0.08	山口集会所前	0.11	荒木区長宅前	0.08
9 町内2区長宅前	0.08	牛尾集会所前	0.08	杉山集会所前	0.08
10 町内区長宅前	0.10	出ヶ原集会所前	0.09	向原集会所前	0.09
下小屋集会所前	0.10	小杉山区長宅前	0.13	塩集会所前	0.09
西平区長宅前	0.09	黒沢公民館前	0.12	新町集会所前	0.08
四岐区長宅前	0.08	上野尻会館前	0.09	道日集会所前	0.10
芝草集会所前	0.08	下野尻集会所前	0.07	下松集会所前	0.09
芹沼区長宅前	0.09	端村集会所前	0.08	山浦集会所前	0.09
堀越集会所前	0.10	徳沢集会所前	0.08	出戸集会所前	0.08
塩喰バス停留所	0.09	宝川集会所前	0.08	中ノ沢集会所前	0.09
中野集会所前	0.09	白坂集会所前	0.08	松峯集会所前	0.09
大久保集会所前	0.09	屋敷集会所前	0.10	中町集会所前	0.08
牧集会所前	0.08	榎木平集会所前	0.09	小山集会所前	0.09
安座集会所前	0.09	熊沢集会所前	0.07	真ヶ沢集会所前	0.09
森野集会所前	0.09	呼賀集落北側入口	0.09	宮野屯所前	0.07
西原集会所前	0.10	両村集会所前	0.11	梨平集会所前	0.09
菅本集会所前	0.10	原集会所前	0.07	小屋屯所前	0.12
松尾集会所前	0.10	新村区長宅前	0.09	極入集会所前	0.12
尾登集会所前	0.09	樟山集会所前	0.10	弥平四郎分校前	0.09
上小島集会所前	0.08	滑沢集会所前	0.09	弥生集会所前	0.09
下小島集会所前	0.08	滝坂集会所前	0.07	小綱木集会所前	0.07
西林集会所前	0.08	柴崎集会所前	0.08	大舟沢集会所前	0.09

シーベルトを超える場所でも、今回の4月27日の調査で町内に国の基準を超える場所はありませんでした。

各自治区の空間線量モニタリング調査結果は左表のとおりで、測定の結果、各自治区の1時間当たり放射線量は、最低値が0・06、最高値は、0・14マイクロシーベルトで、全地点で国の基準値

を下回り、安全であることが確認されました。

町では、今後も町民の皆さんの安全・安心を確保するため、当分の間、月1回定期的に空間放射線量の調査を実施していく計画です。

【問い合わせ先】

町民税務課 ☎45-2215



集落支援員2名体制に

5月2日、新たに集落支援員となった岩橋義平さん(中町)に伊藤町長から委嘱状が交付されました。

この集落支援員は、高齢化が進んで集落の維持が困難な地域に対し、住民の皆さんと協働で集落の維持・活性化対策を推進するため、町が独自に設置しているものです。

委嘱状の交付にあたり、伊藤町長は「地域の自立に向けた支援をお願いします」とあいさつしました。

岩橋さんの任期は5月1日から来年3月31日まで、2名体制での支援活動が展開されることになりました。

機敏に訓練成果を披露

4月22日、総勢約400名の消防団員、女性消防隊員による春季消防検閲が行われました。

当日は野沢駅前からの閲団式で始まり、野沢原町地内では分列行進が、その後、西会津中学校校庭で検閲式が行われました。

閲団式では、江川新壽町消防団長が「大きな災害が続く中、団一丸となって町民の皆さんをしっかりと守っていかねばならない」とあいさつしました。

その後の放水訓練では団員の皆さんが迅速かつ機敏に日頃の訓練の成果を披露しました。



西会津小PTA設立

西会津小学校父母と教師の会(PTA)の設立総会が4月21日、同校で開催され、西会津小学校開校によりPTAも新たに設立されました。

総会では、役員が選出され、初代会長となった物永毅さんが「学校任せではなく、保護者全員で学校経営方針を共有し、交流を深めながら積極的に学校づくりに参画してほしい」とあいさつしました。このPTA設立により、家庭と学校、地域社会が連携した一層の児童健全育成と福祉増進が期待されます。

写真上：(左から)物永毅会長、市橋修一副会長、渡邊昌人副会長、齋藤由美子副会長

30年の節目を祝う

首都圏在住の町出身者で組織する在京西会津会の第30回総会が、5月26日に東京グリーンパレスで開催され、約100名の会員が出席し、創立30周年の節目を祝いました。

出席した伊藤町長はあいさつで、本年度を災害からの復興元年と位置づけ、「地域経済の活性化」「教育の振興と人材育成」「健康づくりと安全・安心の推進」を重点目標に町づくりに取り組むことを説明し、会員の皆さんに協力を求めました。また、総会では、大阪商業大学・田崎公司准教授が「NHK大河ドラマ『八重の桜』と西会津」を演題に講演し、その後、町出席者と会員の皆さんとの活発な意見交換が行われました。



健康がいちばん！一人一運動を推進

健康運動推進員33名が活動開始

町民の皆さんの運動の状況は？

平成20年に町が行った「生活習慣と健康に関する調査」では、週1時間以上運動している方は、男女とも約30パーセントにとどまっています。このため運動の習慣化が課題となっています。

運動にはこんな効果が

運動により心臓などの循環器や肺などの呼吸器機能が活発化するほか、筋肉や骨の強さの維持、また、肥満予防やストレス解消にもつながります。

健康運動推進員って？

町民の皆さんの健康増進のため、運動に関する知識の向上や日頃の運動習慣の改善、健康知識の向上に向け、平成14年に創設した制度です。

この健康運動推進員の委嘱状交付式・第1回研修会が5月9日、町公民館で開催されました。交付式では昨年度、いきいき健康づくり教室を修了した8名が新たに推進員に委嘱され、合わせて33名に

よる今年度の活動がスタートしました。

推進員の皆さんは、今後、運動・健康に関する知識の普及啓発や、健康・体力づくりに関する町事業への協力などの活動を展開していきます。

町民一人一運動を目指して

町では「健康がいちばん」をキャッチフレーズに、今年度から『家庭での正しい食生活』『運動の推進』『検診受診率100パーセント達成』を重点目標に事業を進めていきます。

『運動の推進』では、若い世代からの健康づくりに向けて町民一人一運動を推進していきます。

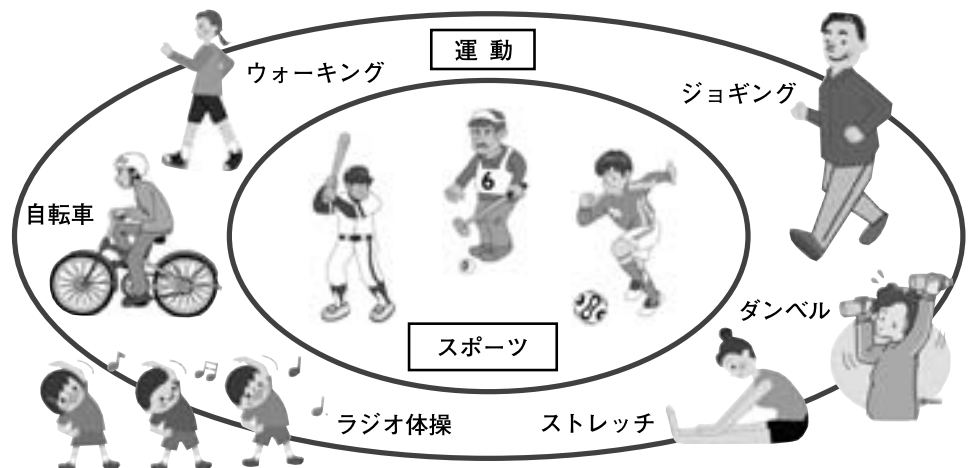
また今年度の秋には、町民の皆さんの参加型による健康講演会を開催する予定です。

今後、町ではケーブルテレビで運動番組を制作し放映するなど、町民の皆さんの運動の習慣化に向け、具体的に運動について紹介していきます。

健康づくり、さらに生活習慣病・介護予防のため、自分に合った運動を日常生活に取り入れましょう。

運動とは広い意味で “体を動かすこと”

運動は、個人の体力に合わせ、健康づくりを目的に行うもので、いろいろな行動が含まれます。一方スポーツは、一定のルールに従って競技するもので、技術の向上が目的です。無理なくできるものから始めましょう。



▶委嘱状を受け取る柴田ゆかりさん(4町内)



▲委嘱状交付式・第1回研修会に臨む推進員の皆さん

今年度の

各教室・講座

スタート



西小わくわくクラブ



歳百合学園 教養講座



キッズランニングクラブ

放課後子ども教室 「西小わくわくクラブ」開校

西小わくわくクラブは、昨年度まで5つの小学校区で実施してきた放課後子ども教室を継続し、西会津小学校区の児童を対象に実施するものです。

この放課後子ども教室は、地域の方々の協力をいただきながら、子どもたちと共に学習やスポーツ・文化活動、地域の皆さんとの交流活動を行い、地域で子どもを育てるシステムづくりを目的に実施しています。

クラブの活動は、1年生を対象にした平日活動と全校児童を対象とした休日活動が行われます。

5月14日の放課後には、平日活動の開

校式が行われ、児童たちと一緒に活動する安全管理員の皆さんとの顔合わせの後、早速「こゆりちゃんキーホルダー」づくりを行いました。また、20日には町公民館で休日活動が行われ、年間活動予定の説明とインストラクターによるゲームなどを行いました。今後はハイキングや魚つかみ体験、キャンプなどの様々な体験活動を行っていきます。

歳百合学園 教養講座

現代社会の理解、健康や仲間づくりなどを目的とする高齢者教室「歳百合学園教養講座」が5月21日に開講しました。

第1回学習会では、「活動的な85歳を目指して」をテーマに、町保健師が講師

となり健康教室を開催しました。教養講座では今後、「町の歴史」「新島八重の鶴ヶ城籠城戦」「ふくしま落語の会・福島県を元気にしたい」などの内容で学習会を開催していきます。

キッズランニングクラブ

ふくしま駅伝の選手育成等を目的とする講座「西会津キッズランニングクラブ」の活動が4月28日から始まりました。

現在、小学4～6年生23名が参加し、遊びを交えた指導のもと月2回土曜日の午前中に活動しており、近隣等のマラソン大会にも参加します。小学4年生以上であれば誰でも参加できます。町公民館では随時参加者を募集しています。



「春の野草展」開催

5月12日・13日の2日間、春の野草展が町公民館で開催され、多くの方が訪れました。

会場には町民の皆さんが丹誠込めて育てたクマガイソウやトガクシシヨウマなど、140鉢を超える山野草が展示され、来場者は、かれんに咲く野草を熱心に観察しながら野草談議に花を咲かせていました。

また、会場ではコケ玉づくりの体験コーナーが設置され、来場者はオリジナルのコケ玉づくりに挑戦していました。

町民バトンタッチ



すずき りょう
鈴木 綾さん [松尾]

西田 優さん (5月号から) メッセージ
飲み会では、いつも「アシ」ご苦労様です。たまには飲んでください。送りますよ！仕事でもお世話になります。

あなたの趣味は？
ドライブ、車いじり

特技は？
誰とでもすぐに仲良くなれること

あなたのモットーは？
いつも明るく生活すること

自分を一言で表現するとしたら？
正義の味方「アンパンマン」

熱中していることは？
筋トレと最近始めたフットサル

最近感動したことは？
仙台のきれいなイルミネーションを見て感動しました

これからやってみたいことは？
結婚ですね

次の方を紹介してください
K・Yさん (松尾)

あなたの宝物は？
『家族です』
「家族あっての自分なので、これから親孝行をしていきたいです」



町民ギャラリー ～上野尻俳句会～

君思ふ春の眠りは夢深し
春眠やきままに生きて老いて行く
老骨に鞭打ちながら春うらら
わがいのち主治医へあづけ春眠す
まろき頬やさしくなる春の風
入学子髪切りそろへらしくなり

薄 浩行 (上野尻)
斎藤五早男 (上野尻)
清野 ふみ (上野尻)
長澤 幸 (芝 草)
星 よしこ (上野尻)
渡部由起子 (萱 本)

(四月例会作品)

聞いて！わたしの夢

ここでは西会津中学校の生徒の皆さんに、自分の想い描いている夢や目標などを話していただいています。

今月は、3年・生徒会副会長の玉木陸^{りく}さんです。

◆わたしの夢

「僕が将来、就きたいと思っている職業は科学者です。僕は小学生の頃から理科が大好きで、中学校に入ってから特に宇宙のことに興味がわき、宇宙についてもっとたくさんを知りたいと思っています。科学者には数学者や生物学者などが含まれますが、その中でも僕は地球科学や天文学など星や宇宙に関する分野で多くのことを発見したり、学んだりしたいと思います。今の自分にとってとても大きなハードルだと思いますが、高校、大学と地道に努力をして夢が実現できるようにがんばりたいと思います」

◆努力していること

「時間があれば宇宙など科学に関する本を読んだり、家ではインターネットでそういったサイトを見つけたりして、さまざまなことを覚えています。また、理科の授業後はしっかり覚えられるように復習を怠らないようにしています」



◆最後に未来の自分に一言

「大変でつらいことがたくさんあると思いますが、困った時はただ純粋に科学が好きなのを思い出し、初心に戻ってあきらめずにがんばってください」

まちの人口 ～5月1日現在～ (前月比)

人口	7,548人	(-15人)
男	3,637人	(-6人)
女	3,911人	(-9人)
世帯	2,813世帯	(-1世帯)

戸籍の窓口 ～4月受付分～ <敬称略>

お誕生おめでとう

長谷川 魁 <small>かいと</small> 一 <small>と</small> くん	貴司・紀子	松尾
伊藤 舞 <small>ま</small> お音 <small>お</small> ちゃん	学・萌美	西林東

ご結婚おめでとう

須藤 貴司	6町内
佐藤 佳子	会津若松市

お悔やみ申し上げます

赤城 恵輔 (80)	イサ子	夫	1町内
青木 キミ子 (81)	義時	叔母	9町内1
会田 壽美子 (83)	秋広	母	森野
五十嵐 義男 (88)	義美	父	萱本
渡部 常雄 (59)	博美	夫	西林
石川 珠江 (51)	信孝	妻	上野尻
高橋 ヨネ子 (95)	春代	母	徳沢
小原 秀 (87)	修	母	宝川
五十嵐 清美 (78)	光喜	父	滝坂
武藤 ハナエ (90)	香代子	母	柴崎
井上 定雄 (80)	國男	叔父	道目
長谷川 サツ子 (80)	富保	母	出戸
矢部 三郎 (83)	喜一	父	松峯

新消防団長紹介



第15代
町消防団長
江川 新壽 さん
(上野尻)

町消防団はもとより女性消防隊、消防支援隊が一丸となって全身全霊で皆さんの生命、財産を守ってまいりますので、よろしくお願いします。

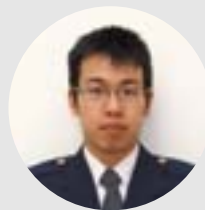
こちら西会津交番です

4月の人事異動で新たに着任された西会津交番の皆さんを紹介いたします。

あべ てつや
阿部 哲也 巡査
昭和60年生まれ
いわき市出身
担当地区：野沢



地域に密着した警察活動を通じて皆さんの住みよい環境づくりに貢献していきたいと思えます。



えづれ とおる
江連 徹 巡査
平成元年生まれ
須賀川市出身
担当地区：尾野本

地域の皆さんが安心できるように警察官として、一人の人間として日々成長し、頼られる存在になりたいと思えます。

こじま まさよし
児島 正義 巡査部長
昭和57年生まれ
会津若松市出身
担当地区：群岡・新郷



町の事件事故を1件でも多く減らすことができるよう、地域の皆さんと一丸となってがんばってまいりますので、よろしくお願いします。

以下は広告です。内容については、広告主へお問い合わせください。

有料広告を募集しています

紙面に掲載する有料広告を募集しています。詳しくはお問い合わせください。

- ◆大きさ 1枠当たり縦4.0cm×横8.5cm
- ◆掲載料 1枠当たり5,000円/月

【問い合わせ先】企画情報課・広報広聴係

☎45-4536

西中生が大健闘

5月16日、耶麻管内中学校体育大会・陸上競技大会がさゆり公園で開催され、出場した西会津中をはじめ、管内各校の選手たちは、母校の名誉と自己ベスト更新に向け、仲間の応援を背に全力で競技していました。



今月の表紙

5月26日、西会津小学校で初めての運動会が開催されました。児童たちは、開校以来4月から行ってきた練習の成果を発揮し、赤組も白組も最後まであきらめず全力で競技、そして応援し、小学校統合後、心をひとつに新たな歴史の1ページをつくりました。



広報にしあいづ
2012 (平成24年)

6月号

発行：西会津町 編集：企画情報課
☎0241-45-2211 (代表)
info@town.nishiaizu.fukushima.jp
http://www.town.nishiaizu.fukushima.jp/



この広報紙は、環境に優しい大豆油インキを使用しています。